

平成 30 年 12 月 13 日

名古屋教育医療記者会 各位

名古屋市立大学大学院
人間文化研究科 教授 吉田 一彦
電話 : 052-872-5183
(名古屋市政記者クラブと同時発表)

蓬左文庫典籍研究会シンポジウム
蓬左文庫本『日次記』をめぐる公家と武家
— 書物の書写・贈与・相続の新事実 — 開催

名古屋市立大学では、蓬左文庫典籍研究会と共催で、1 月 13 日に蓬左文庫が所蔵する『日次記』についての新たな発見をめぐるシンポジウムを開催いたします。

つきましては、興味をお持ちの一般市民の方などに本シンポジウムの開催を広く知っていただくためにご案内いただくとともに、あわせて是非ご取材いただきますようよろしくお願いいたします。

記

- 1 日 時 平成 31 年 1 月 13 日(日) 13 時 00 分～17 時 00 分
- 2 場 所 JPタワー名古屋 5階 会議室
- 3 内 容
 - ・「蓬左文庫本『日次記』の写本系統」
廣瀬 憲雄 氏 (愛知大学文学部・准教授)
 - ・「蓬左文庫本『日次記』の所在と変遷」
木村 慎平 氏 (名古屋市蓬左文庫・学芸員)
 - ・「蓬左文庫本『日次記』と二条家」
手嶋 大侑 氏 (名古屋市立大学・大学院博士後期課程)
 - ・全体コメント
松 蘭 齊 氏 (愛知学院大学文学部・教授)
 - ・全体討論
- 4 参加費 無料
- 5 定 員 当日先着 80 名
- 6 問い合わせ 名古屋市立大学人間文化研究科 吉田一彦研究室
〒467-8501 名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑 1
〈電話〉 052-872-5183 〈E-mail〉 yoshida@hum.nagoya-cu.ac.jp
- 7 その他 主催: 蓬左文庫典籍研究会
共催: 名古屋市蓬左文庫、名古屋市立大学人間文化研究所、
名古屋市立大学都市政策研究センター

平成31年
1月13日(日)

午後1時～5時

会場

JPTタワー名古屋5階会議室
(名古屋市立大学サテライト会議室)

参加費

無料(当日先着80名)

「蓬左文庫本『日次記』をめぐる公家と武家」
― 書物の書写・贈与・相続の新事実 ―

13時00分	研究会代表挨拶
	(発表時間各30分)
13時10分	廣瀬憲雄氏(愛知大学文学部・准教授)
	「蓬左文庫本『日次記』の写本系統」
13時40分	木村慎平氏(名古屋市蓬左文庫・学芸員)
	「蓬左文庫本『日次記』の所在と変遷」
14時10分	休憩
14時25分	手嶋大侑氏(名古屋市立大学・大学院博士後期課程)
	「蓬左文庫本『日次記』と二系家」
14時55分	全体コメント 松園齊氏(愛知学院大学文学部・教授)
15時10分	休憩
15時25分	全体討論
17時00分	終了



JPタワー名古屋5階会議室へのアクセス
(ミッドタウンクリニック名駅と同フロアです)

- ・JR名古屋駅より徒歩1分
- ・JR名古屋駅から2F貫通通路を通じてJPタワー名古屋へ
- ・JPタワー2階「サービス&クリニック入口」内のエレベーター(5~12階専用)よりお越しく下さい

蓬左文庫典籍研究会
シンポジウム

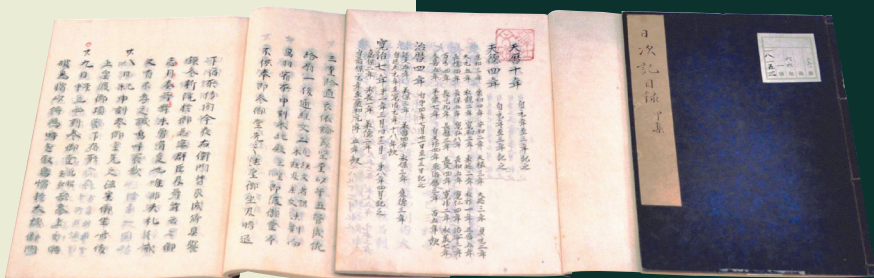
蓬左文庫本『日次記』をめぐる 公家と武家

― 書物の書写・贈与・相続の新事実 ―

権力者たちは書物を集めた。学問のため、権威のため、故実継承のため。蓬左文庫が所蔵する『日次記』は、権力者が集めた書物の一つである。『日次記』は、中世公家の二系家が代々相続し、または書写・収集した貴族の日記の集成であり、この書物を手に入れるべく、公家や武家は動いていた。

このシンポジウムでは、これまでほとんど注目されてこなかった蓬左文庫本『日次記』に光をあて、この書物をめぐって行なわれた南北朝時代・江戸時代初期の公家・武家の交渉の新事実を紹介し、これまで見落とされていた、書物の書写・贈与・相続をめぐる公家と武家との関係について考えていく。

※本シンポジウムは、平成29年度大幸財団法人文・社会科学系学術助成金により開催致します。



【主催】蓬左文庫典籍研究会 【共催】名古屋市蓬左文庫、名古屋市立大学人間文化研究所、名古屋市立大学都市政策研究センター

【お問い合わせ先】名古屋市立大学人間文化研究科 吉田一彦研究室

〒467-8501 名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1 (TEL) 052-872-5183 (E-mail) yoshida@hum.nagoya-cu.ac.jp